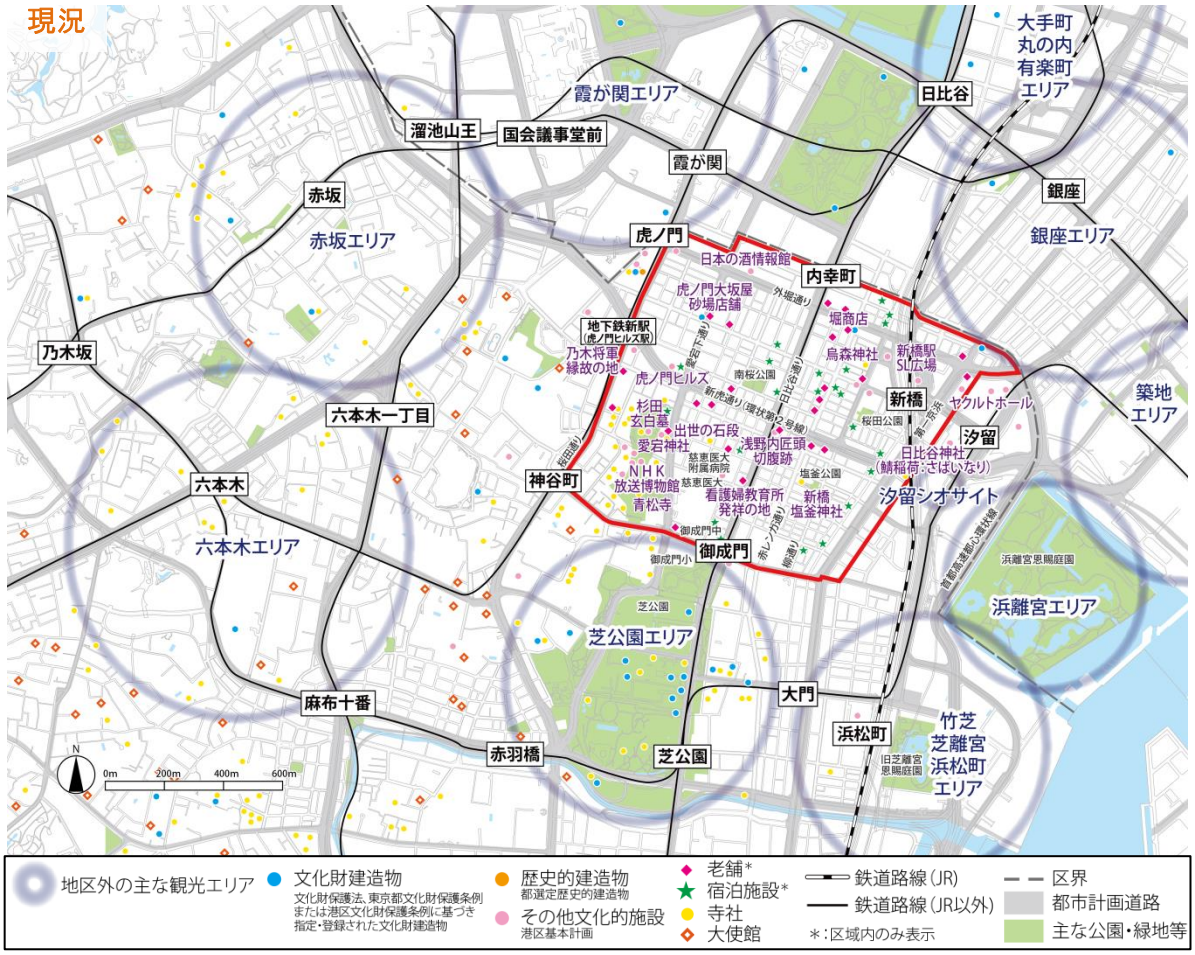
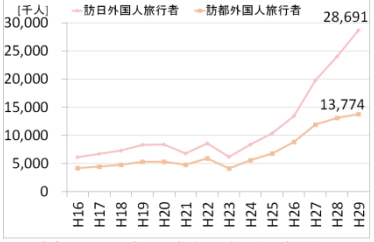
方針８　国際都市としての魅力の向上と情報発信【国際化・観光・文化】

本地区では、国際ビジネス･交流拠点の形成の進展により、外国人居住者や国内外からの来街者の増加が想定されます。そこで、国際化に対応したビジネス･生活環境の形成や旅行者･来街者の受入れ環境の整備を推進します。また、寺社や老舗など伝統ある地域の歴史や文化が感じられるまちづくりを行います。

現況



- 本地区及びその周辺では、国内外でグローバルに活躍する企業が増えており、大使館も多く立地していることから、外国人居住者が増加傾向にあります。また、東京 2020 オリンピック･パラリンピック競技大会の開催決定を契機に、国内外からの旅行者も増えています。
- 東京タワーが徒歩圏内にあり、本地区にも愛宕神社をはじめとした観光資源が多数存在しています。
- 新橋こいち祭、烏森神社例大祭、日比谷神社例大祭、愛宕神社例大祭など古くから続く地域の祭りが多数存在するほか、新虎通りや虎ノ門ヒルズでは新たな文化を発信するイベントも行われています。
- 鉄道発祥の地である新橋駅や寺社、歴史的建造物など、歴史･文化資源が多く保全されています。



訪日･訪都外国人旅行者数の推移（単位:千人）
（「訪都旅行者数等実態調査
／東京都産業労働局」を基に作成）

全国交流物産展 in 新橋
の様子

鉄道発祥の地
としての新橋駅
（D51 機関車の動軸）

地域の祭りの様子

取組方針

取組方針1　国際都市にふさわしい環境整備

- 国際的なビジネス･交流の拠点として、外国人もともに暮らしやすいまちを目指し、医療や子育て、教育、防災など日常生活のさまざまな面において、多言語化や文化への理解などに配慮した環境づくりを推進します。
- 公共交通機関の案内サインや観光･街区案内標識などは、多言語化及びユニバーサルデザインの導入により、外国人居住者や国内外からの旅行者の利便性向上を図ります。
- 国内外からビジネスを目的とした来街者が多く集まる強みをいかし、国際的なビジネスイベントの誘致に向けて、本地区の多様な歴史･文化資源及び新たに生まれた観光資源のユニークベニューとしての活用、国際ビジネス･交流施設の整備などを推進します。
- 旅行者受入れの玄関口となる交通結節拠点の周辺を中心に、不足している観光案内機能を充実させシティプロモーションを強化するとともに、来街者が港区での滞在を満喫して過ごせるような機能拡充を行います。

国際的な交流のイメージ

芝地区旧町名由来版（旧新橋停車場前）

取組方針2　周遊観光の推進、シティプロモーションの強化

- ストーリー性やテーマ性のある観光ルートを発信し、本地区内や地区周辺の観光力向上を目指します。その際、コミュニティバスやシェアサイクルなど、ルートを快適に移動できるよう回遊性のあるまちづくりを進めます。
- 本地区内へのアクセス･利便性向上、地域資源をつなぐシンボルストリートの魅力向上に取り組みます。
- プロジェクションマッピングをはじめ先進的な取組によるイベントや地域の情報発信を行うことで、地域の活性化を推進します。

取組方針3　多彩な文化に身近に親しめるまちづくり

- 地域住民や企業などが連携した祭り･イベントの活性化を図ります。
- 壁画アートなど、新たな文化を創造･発信する取組を促進します。
- 老舗店舗などとともにつくってきた地域の伝統や文化を継承するまちづくりを進めます。

まちづくりのポイント「国際ビジネス・交流拠点の形成に向けて」

- ○ 本地区では、虎ノ門エリアを中心に、大規模な開発事業等において会議場、展示・発表施設、宿泊施設、イノベーションオフィス、海外企業向けの後方支援施設など、ＭＩＣＥに対応した施設の整備が進んでいます。
- ○ 今後は、施設整備に留まらず、本地区ならではの特色をいかして、本地区内で集積が進む既存のホテルや国際会議場等のＭＩＣＥ施設を有機的に連携させて地域の魅力向上を図るなど、国際都市として国内外から人が集まるような取組を続けていくことが望まれます。
- ○ 例えば、他地区においては、歴史的建造物や文化施設、公共空間など地域特性をいかした特別感を演出できる会場（ユニークベニュー）を活用した会議・レセプションの開催が積極的に行われています。本地区においても、新虎通りや新橋駅西口広場（SL 広場）などのまちの資源をいかした印象的なイベントの開催などを通じて、地区に愛着が持たれるよう、本地区ならではの魅力を国内外に発信していくことが期待されます。

カンファレンス機能（虎ノ門ヒルズ）

街なかの空間を活用した MICE
（サウス・バイ・サウスウエスト、アメリカ）

事例紹介　伝統を継承し、新たな文化を創造する「老舗」の存在「芝百年会」

- 本地区には、江戸期以降創業し、社会の変動や天災などを乗り越え、現在もなお事業を営む老舗が多数存在しています。飲食だけでなく、和服など衣料品や碁盤などの日用・娯楽品など多種にわたり、土地柄をいかしながら、日本の伝統文化を継承し、更に海外の新しい文化や文明の技を取り入れて進化してきました。
- 本地区には創業 100 年を超える老舗が 20 軒以上存在し、にぎわいの形成に寄与しまちに活力を与えています。平成 28 年（2016 年）にはそれら老舗が 10 軒以上集まり、新しい IT 時代の到来を見据え、「芝百年会」が創設されました。
- 芝百年会では、外国人をターゲットとした日本文化を感じるためのまち歩きイベントを開催するなど、老舗文化のＰＲに注力しています。個別の店舗でも趣向を凝らした活動が行われており、明治 30 年（1897 年）から呉服店を営んでいる「丁子屋呉服店」では、近年発展している電子技術と長年受け継がれてきた着物の仕立て技術をかけ合せ、デジタル復元された江戸時代の着物を実際に仕立てるアートイベントを開催しています。
- 100 年以上続く老舗が数多く存在する本地区では、長年受け継がれ培われてきた技術や知恵を受け継いでいくとともに、新しいまちや文化に応じて柔軟に変化することが、地域の魅力向上の観点からも重要になっています。伝統文化の伝承、発信だけでなく、にぎわいの形成や特徴ある景観づくりの観点からも「老舗」の持つ力をまちづくりにいかしていくことが大切です。

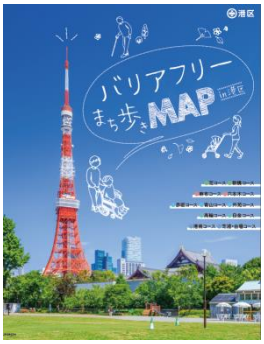
（参考：芝百年会ホームページ）

和の伝統文化（丁子屋呉服店）

西洋文化（あたご小西）

まちづくりのポイント　「ストーリー性ある観光ネットワークの形成」

- 本地区周辺には、東京タワー、増上寺、旧芝離宮恩賜庭園など、日本有数の観光スポットが存在します。それらのスポットと、愛宕神社や虎ノ門ヒルズなど本地区の観光スポットを、一連の観光ルートとしてネットワーク化することで、広域的な周遊観光の一環で本地区への来街者が増えることが期待されます。
- 港区では、「すこやかマップウォーキング」や「バリアフリーまち歩き MAP」など、様々なテーマで港区内の魅力を感じることができるルートを紹介しています。また、新虎通りとその周辺では、道路内建築物を利用した日本全国の自治体の物産展やスポーツと食を楽しめる体験ツアー、老舗を巡るまちあるきなども行われています。
- 今後は、夜のにぎわいを楽しめるような観光ルートづくりも望まれるため、本地区内外の多彩な夜の観光資源の活用と安全・安心を両立させた、港区ならではのナイトタイムエコノミーの取組を推進します。
- 観光スポットのみではなく、本地区各所で行われているイベントや、コミュニティバスや自転車シェアリングなどの交通手段の情報も一体で提供するなど、来街者が手軽にまちのあちこちを巡ることができるような工夫も必要です。



バリアフリーまち歩き MAP 表紙
（出典：港区ホームページ）

方針図（国際化・観光・文化）

（住民や企業など地域が連携した地元の祭り･イベント）

町会が中心となって行う防災訓練に周辺企業の在勤者が参加

烏森神社例大祭

愛宕神社出世の石段祭り

虎ノ門金刀比羅宮の梯子乗り奉納

旅する七夕
（東京 2020 オリンピック･パラリンピック競技大会を活用した地域活性化推進首長連合主催）

全国から集結した書店や出版社、読書グッズ販売店などが出店したブックイベント

企業とアーティストが共同で開催したミューラルアート完成記念イベント

起業家や投資家、研究者などが集うビジネスイベント（CIC Venture Cafe Tokyo、虎ノ門ヒルズ）